

平成25年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂 博 羽立 秀光
調査実施年月日	平成25年11月19日(火)
調査先 自治体名等	秋田県秋田市
調査項目	「家族・地域の絆づくり」について
調査目的	基本施策「家族・地域の絆づくり」の具体的実施事業等の調査
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 323,363 人 行政面積: 905.67 km²</p> <p>2 視察内容 家族や地域を支える絆づくりについて 市民の主体的な活動の実現について</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>秋田市では、次の世代に引き継ぐ将来ビジョンとして、県都「あきた」成長プランを策定。同プランにおける将来都市像の1つとして、「家族と地域が支えあう元気なまち」という目標を掲げています。</p> <p>その目標達成に向け、「家族や地域を支える絆づくり」及び「市民の主体的な活動の実現」という2つの基本施策があります。</p> <p>家族や地域を支える絆づくりについて 「人と人との信頼、思いやりの心を市民一人ひとりがはぐくみ、家族から地域へ、地域から社会へ次の世代へと伝え広げるよう絆づくりの機運を醸成する」というコンセプトのもと、平成22年度から家族の絆をテーマとした映画上映会の開催や市内の小中学校に講師を派遣し、絆について考えるきっかけを提供する「小学生への絆の授業」などの意識啓発事業を実施。</p> <p>市民の主体的な活動の実現について 一人ひとりが絆を大切にする機運醸成のため、平成24年度から市内の小中学生と有名アーティストが共演し「絆のコンサート」を実施。</p> <p>また、上記の他に、家族・地域の絆づくりのイメージキャラクター「テッテ」を用い、街頭啓発活動などを行っているとのこと。</p> <p>このような「絆づくり」というのはすぐに効果が表れるものではなく、複数年かつ多角的に実施しても、効果が見えにくいという点は否定できません。秋田市ではすべての事業予算を合わせると、1年間で600万円以上とのことであり、本市では財政状況が厳しい中、同様の事業を同じ規模で実施することは難しいと思いますが、本市の進めている市民協働と方向性は同じであり、秋田市での取り組みは、市民協働を進めていく上で、1つの進むべき道を示しているのではないかと感じました。</p>